



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.

THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN



国際会長主題 「世を照らす光となろう」

アジア会長主題 「歳月はYsをワイズ（賢者）にする」

西日本区理事主題 「先頭に立ってワイズの光を輝かそうクラブで、地域で、国際社会で」

中部部長主題 「前へ！声を掛け合い！」

クラブ会長主題 「一つ一つの例会を大切にしよう」

2012年9月

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

会 長	小塚 英史	副 会 長	小林 滋記	書 記	杉山 弘時
会 計	森本 征夫	直前会長	浅井 昭和	連絡主事	中井 信幸



今月の聖句

フィリポ^①は「来て みなさい」と言った。

ヨハネによる福音書1章9節

9月例会案内

第一例会

日 時：9月13日（木）19:00～

場 所：南山YMCA

会 費：2,000円

「リーダーを囲んで」バーベキュー大会

YMCAでは夏の一大行事も一段落し、大活躍したリーダー諸君もほっと一息の時です。恒例となりました「リーダーの皆さんのご苦労さん会」が9月第一例会のプログラムです。リーダーだけでなく我がクラブ全員も中部部会を終えほっと一息、一息どころか二息も付きたいところです。リーダーと共にリフレッシュしましょう。食材提供大歓迎です。特にデザートとなるものは、大歓迎です。19時開始ですが、準備もありますので時間の許す限り早めにお出ください。

第二例会

日 時：9月20日（木）19時～

場 所：未定

「中部部会反省会及び後処理」

中部部会の反省と会計決算を行います。

8月第一例会報告

日 時：8月9日（木）19:00～

場 所：南山YMCA

出 席：浅井、荒川、小塚、小林、近藤、杉山
森本

8月第二例会報告

日 時：8月16日（木）19:00～

場 所：南山YMCA

出 席：浅井、荒川、小塚、小林、近藤、杉山
深尾、森本、中井

8月は、毎週木曜日だけでなく随時各担当が個々に集まり準備に奔走しました。2日、9日、16日、23日、25日が全員集合での準備の日ですが、それ以外にもホテルでの調整、印刷物の校正等、担当毎に集まった日、買い物、資材点検等で集まった日々等、メンバー全員が夏休み返上で頑張りました。

クラブのメンバーだけでなく、毎週木曜日には夜遅くまで付き合っYMC Aスタッフに付き合っいただきました。又、職員の方には込書の整理をお願いし、基礎データの作成をお願いしました。

感謝です。

8月報告	在籍9名	第1例会出席	第2例会出席	メイクアップ	出席率
		8名	9名	0	100%

中部部会報告

6月26日、一年前から準備に取り掛った第16回中部部会の開幕でした。小塚会長の綿密な計画、進行台本、係り分担を9時30分きっかりに確認し、配られた青いポロシャツに着替えると、さあこれからと実の引き締まる気がしました。小塚会長のポロシャツ当日配布には、こんな意味が込められていたのかと思い改めて彼のすごさを認識しました。それぞれの持ち場についても進行台本通りに動きやすく、準備された、名簿、名札、などほぼ完璧で前日杉山書記に何回も読み合わせ、チェックをさせられた効果が良く表れていました。メネットアワーに合わせて開始した受付も出足よく11時頃にはもうすでにメンの登録が始まっていましたが、準備万端でしたので何の混乱もなく順調でした。

11時30分よりメネットアワー、評議会準備の都合もあり参加することは出来ませんでした。時間も予定より少し遅れただけで閉会出来ました。



評議会は、おおむね予定通り、議案内容として物足りなさを指摘されましたが、ご意見通りで反省すべきことと思われました。その他は議案通り了承されました。全て杉山書記の準備通りで感謝です。



部会は、予定よりも10分余も早く終わることが出来るほど順調でした。ウエルカムミュージックから始まり来賓挨拶、役員紹介など順調でしたが、部長としての大失敗は、折角各役員さんの名前を調べ、振り仮名を振っておいたのにその原稿を忘れてしまい読み間違えたり、詰まったり紹介される役員さんに大変失礼をしてしまいました。そんなことのないようにと、準備をしておいたのに失敗するなんてとんでもないことでした。杉山、小塚両氏の周到ぶりとは対照的で恥ずかしい思いをしました。



第二部の講演会は東海大の近藤真由先生の音楽療法に関するお話で、途中ヴァイオリンの伴奏つきで、

医療器具としての楽器を使い合唱と演奏をしました。中々興味のある講演でした。もう少し時間を取りもっと聴衆参加の講演会にすればよかったかな、と思いました。と言うのは近藤先生からは、「色々と医療に使う楽器を皆で持って演奏し楽しみましょう。」と提案があったからです。



第三部フェローシップアワーは、小林君が司会を担当し、ヴァイオリン・ミニコンサートで始まりました。役員紹介、クラブ紹介等予定されたプログラムを終え、会食後のアピールタイムでは西日本区大会のアピール。そして事前の申し込みはなかったものの予想どおりに事業主任等からのアピールで例年どおりの盛り上がりでした。



席上、松原Yサ、ユース事業主査より福島九州部長へ部会での献金8万円余が阿蘇YMCA支援のために送られました。評議会で決定されたように部会献金は、同じ西日本区内で夏の集中豪雨で大変な被害を受けられた阿蘇YMCA支に送られることになったからです。



17時30分予定通りYMCAの歌の後、司会の小林滋記君より終了が告げられました。南山クラブ一同にとっては、長いような、あっという間の一日でしたが、皆さん本当にお疲れ様でした。

又、当日の受付等を応援していただいた在名クラブの連絡主事の皆さん！ありがとうございました！

中部部会を終えて

みなさんお疲れ様でした。まあまあ大過なく終わりました。10月第二例会が反省会となっています。みんなの記憶にある内に反省すべきことは反省しておきましょう。当初の予想人数を越えて、会計的には赤字は免れることが出来そうですが、反面参加者が増えていく段階で、それなりに新たな対応が必要とされていたことも事実です。

反省会ではそれぞれがゲットした裏話を交換しましょう。私も忘れない内にメモしておきます。

杉山ヒロトキ 記

夏休み日和田キャンプ場だより

8月29日に全てのキャンプが終わり、8月30日に撤収して名古屋に降りてきました。暑い……。日和田の後半はハンディキャップのある子どもたちやファミリー、被災して愛知に引越してきている方、サッカー合宿などバラエティーに富んだキャンプとなりました。ハンディキャップのある子どもたちは、私も一緒にテントで宿泊したり、沢登りをしたり、リーダー体制厚い中で実施しました。天候にも恵まれ楽しい思い出となる時間を過ごせました。ファミリーは残念ながら3日間とも雨模様……。雨男と呼ばれそうなくらいの勢いのある雨と雷でした。被災者交流キャンプはやはり食物の産地がポイントとなりあわてて高山に買い出しに出たりすることもあり難しさを感じる場面でした。このころ中井の体力もそろそろつきそうな状況でもありました。しかし、リーダーが頑張っている以上休むことなくがんばったつもり?です。

一度名古屋に戻った後はサッカー合宿で、いつも指導している子どもたちがきて楽しく行えました。「なんでカズリーダーがご飯作ってるの」という素朴な質問もありました。サッカーとなると年齢を忘れてプレーしてしまうので、それがたたって両足アキレスけん痛となりました。子どもの前では湿布など張りませんが、帰った後は即シップを両足に貼る始末となってしまいました。年齢には勝てません……。そなんこんで、1か月半の日和田生活も終わってしまいました。反省点多々ありながら、でも有意義な時間となったことに感謝したいです。

そなんこんで、1か月半の日和田生活も終わって

しまいました。反省点多々ありながら、でも有意義な時間となったことに感謝したいです。



例会出席表

		8 / 9	8 / 19	8 / その他	8 / 26 中部部会
1	浅井 昭和	○	○	○	○
2	荒川 文門	○	○	○	○
3	小林 滋記	○	○	○	○
4	小塚 英史	○	○	○	○
5	近藤 豊	○	○	○	○
6	杉山 弘時	○	○	○	○
7	中井 信幸			○	
8	深尾 俊雄	○	○	○	○
9	森本 征夫	○	○	○	○